

メルマガ全部協プライムニュース

2016年10月号

<http://zenbukyo.or.jp>

このメールは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

C O N T E N T S

- 1, 「メルマガ全部協プライムニュース」とは
- 2, 「オートモーティブプライムニュース」とは
- 3, 全部協活動報告
 - 1) 事業運営委員会
 - 2) 編集委員会
- 4, 支部・ブロック協議会活動報告
 - 1) 全九部理事会開催（平成28年9月6日）
 - 2) 福部商理事会開催（平成28年9月9日）
 - 3) 近畿ブロック協議会「中小企業会計啓発・普及セミナー」開催（平成28年9月10日）
 - 4) 青森県部品商組合合同展示会開催（9月10日～11日）
 - 5) 石川県自動車部品商協同組合60周年記念
- 5, 顧問税理士のコラム
- 6, 統計情報
 - 自動車販売統計
 - 整備工場統計

7, 事務局からのお知らせ

- 1) ZEN-ERiC 商標の組合員利用について
- 2) 「伸びている部品、減っている部品 2016」
- 3) 機関誌「オートモーティブプライムニュース」への反響
- 4) ZEN-ERiC 商品取り扱い普及促進のための展示会・講演会開催

8, 全部協会議・活動日程

9, メルマガ配信アドレス登録お願い

10, 付録

- 1) 平成 28 年度自動車整備点検推進運動ポスター・チラシ
- 2) 緊急地震速報の訓練参加チラシ（国交省、気象庁）
- 3) 大同生命からのお知らせ
- 4) PB 商品の広告
- 5) その他の広告リンク
・ショーワグローブ株式会社

1 「メルマガ全部協プライムニュース」とは

イ、全部協＜内部情報専門＞の「メールマガジン」です。

ロ、理事会や委員会、組合の各種事業活動及び組合員への連絡事項を
発信します。

ハ、＜毎月＞、組合員、賛助会員及び所管官公庁、協力企業に配信します。

2 「オートモーティブプライムニュース」とは

イ、部品商の＜顧客向けの情報誌＞です。

ロ、＜奇数月発行＞のタブロイド版の「紙面情報誌」です。

ハ、補修部品情報はもちろん、卸問屋企業や部品メーカーからの情報、
自動車業界動向、各種技術情報、全部協の諸活動、等々を発信して
参ります。

ニ、＜希望を募り「無料」で＞組合員・賛助会員へ配送します。

ホ、組合員の営業ツールにすることを目的にしています。

1) 事業運営委員会

全部協は第13回事業運営委員会を平成28年9月8日(木)11時15分から、全部協(東京上野)で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- ①WEB 共通互換品番検索システム入力者年間報賞について
- ②あっせん販売手数料について
- ③交換部品取り替えキャンペーンの進め方
- ④共同購買・あっせん事業の進め方
- ⑤PM.NSへZEN-ERIC商品マスター組み入れ進捗状況報告
- ⑥ZEN-ERIC ブレーキパッド商品拡充について
- ⑦部品検索システム業界の動向について
- ⑧メルマガからSNS移行準備について
- ⑨ZEN-ERIC 商標の組合員利用について
- ⑩訪米ツアー延期について

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

1, WEB 共通互換品番検索システム入力者年間報賞について

第28回理事会で承認された、年間報賞の具体的な方法について意見交換し、以下の事柄を決めました。

1) 報賞を贈る時期

毎年6月開催の通常総代会で報賞を贈る。

2) 顕彰方式

報賞者を招聘し賞状と報賞金を贈呈する。

旅費(交通費、宿泊費等)は全部協から支給する(負担する)。

3) 報賞金と報賞ランク

平成 25 年第二回総会で行った「互換入力者功労表彰」を超える印象を与えることがないように配慮する。そのため熟考の時間を設けることにし、次回の委員会までの懸案とした。

4) データー入力協力キャンペーンの実施

(互換データー入力促進策として)

①四半期毎に、特定のメーカーないし部品について、事前に組合員に案内した上で、互換データー入力キャンペーンを実施する。
そのときのポイントは別に定めて通常よりも高いポイントを付与する。
付与したポイントは通年ポイントに加算する。

②キャンペーン実施期間(四半期毎)での報賞ランク及び賞金
キャンペーン報賞を別に設け、1位、2位、3位に報賞金を贈る。
キャンペーンポイントは従来の四半期報賞のポイントに加算する。
更に、従来の四半期報賞とダブル受賞もあり得ることとする。
報賞金は、1位3万円、2位2万円、3位1万円、とする。
ダブル受賞の場合は従来報賞金に加算して支給する。

2. あっせん販売手数料について

前回の委員会(第12回、7月27日)で懸案となっていた補修用ガラスと輸入タイヤのあっせん販売の手数料徴収について確認しました。

1) 補修用ガラスのあっせん販売

生駒商事の都合から、本日の委員会に出席して頂けない。次回の委員会に参加していただく事になっている。

については、当委員会の意向を事前に生駒商事に伝えることを確認しました。

当委員会としては、生駒商事から条件を提示して頂き、それをもとに双方の意見を交換することにすることにします。その旨、事務局から生駒商事に連絡します。

2) 輸入タイヤ販売

事務局から、事前にオートウェイと仲介のビッグウェーブに確認した内容の報告がありました。

①オートウェイから全部協組合員が購入しているタイヤ本数

全部協組合員名簿をもとに、オートウェイから1年間に組合員が購入したタイヤ本数の報告がありました。

全組合員合計：2,900本/年（月平均、約240本）

その中の購入トップ4（1～4位）：870本、300本、260本、230本

②オートウェイの提示条件

オートウェイとして通常の場合1,000本/月、販売を超える場合に販売協力金を支払うことにしています。しかし、ビッグウェーブの仲介でもあることを配慮し、全部協へは500本/月を超えた場合に協力金を支払うことを考えています。

当委員会として、オートウェイの提示条件について了解することになりました。そのことを、事務局からオートウェイとビッグウェーブに連絡します。

3. 交換部品取り替えキャンペーンの進め方

前回の委員会（第12回）の議論を踏まえて、具体的なキャンペーンの進め方について意見が交わされましたが、結論が得られませんでした。

<前回委員会の議論要旨>

ZEN-ERIC商品に組合員の理解が十分に得られていない中、ZEN-ERICを表面に出すことの反発を抑えるために、一般名を使った交換部品の取り替え促進キャンペーンを行い、その中に全部協にはZEN-ERIC部品があるとする方法で実施する。これにより、ZEN-ERIC部品への反響を緩衝させる。

4. 共同購買・あっせん事業の進め方

議案（3）に引き続き、収益事業として当委員会に課されている共同購買あっせん事業を振興する策について議論が予定されましたが、未消化で終わっています。

議論の契機として、前の日（9月7日）に行われた、経営組織委員会での議論と資料が紹介されました。それにより、当委員会で継続して真剣な議論が求められる所以であることが再確認されました。

5. PM.NSへZEN-ERIC商品マスター組み入れ進捗状況報告

ブロードリーフの部品検索システムに ZEN-ERiC 商品データーを提供する覚書を取り交わすことが、先の理事会（8月4日開催）で承認されています。また、覚書案について、経営組織委員会（9月7日開催）で了承されました。

事務局ではそれを受け、9月14日にブロードリーフ社と覚書を正式に取り交わしを行いました。

商品マスター作成の進捗状況について、担当の委員から報告があり、確認されました。

- 1) ZEN-ERiC（ワイパー製品）データーマスターはほぼできている
- 2) ブロードリーフ社にデーターを入稿するルールを決める必要がある
全部協事務局を窓口としてブロードリーフ社に商品マスターデーターを送ることにする。送るデーターの確認は情報専門部会が行う。
- 3) 仕入れ先コード、メーカーコードの取り決めについて
種々要望が出されているが、パーツマン検索を利用する組合員が都度設定をし直さなくて済む方法を情報専門部会で検討し、それを採用する（一任する）。
メーカーコードは統一することで進める。
- 4) 互換にも今回作成したデーターを登録する

6. ZEN-ERiC ブレーキパッド商品拡充について

前回の委員会で懸案としてメーカーに検討をお願いしていたブレーキパッド商品を拡げることについて、メーカーから見解の表明と説明がありました。実施については、未定です。

他に以下の回答がありました。

- 1) メーカー名を表示することが売りやすいとして公表することを要望されるが、従来の商流や製造元への配慮から、それらには応じることができないので、ZEN-ERiC ブランドで通して頂きたい
- 2) 現在の7個セット販売を3個セットの少量販売にすることについては検討して後日回答する。

7. 部品検索システム業界の動向について

前回の委員会（第12回）で部品検索システム業界の動向について意見交換されました。それに関わる事として、未確認情報の一部報告がありました。

（要旨）

- ・純正販売が部品検索システム会社に部品情報を流すとの噂がある
- ・一部の部品検索システム会社がある方向で動いている（未確認情報）
- ・純正部品データーを純正販売から提供されている日本アウダテックスはそれを否定している
- ・日本アウダテックスは検索システム会社にデーターを開示することはない
- ・ブロードリーフ社は、つばさ時代の流れから一部のみについて、日本アウダテックスからデーターの提供を受けている
- ・整備システム向けに日本アウダテックスはデーターを提供する許可をメーカーから受けている
- ・部品商向けにデーターを提供することは、メーカーとの取り決めに無い
- ・今後、全部協などの団体や関係企業から声を上げて頂き、また、メーカーとの話し合いを行い、その様な流れを作ることができれば、日本アウダテックスとしても協力する

8. メルマガから SNS 移行準備について

メルマガを SNS の FaceBook など情報発信することに替えていくことについて、先の理事会（第 28 回定例理事会）で承認され、実施に移していくことになっています。そして、その実務を事業運営委員会の情報専門部会で行う事が決められています。

具体的な作業に入るために、情報専門部会の担当と体制を事業運営委員会で決める必要があります。そのことを事務局から確認しました。（別途期日を決めて情報専門部会で話し合うことが後日決められています。）

9. ZEN-ERiC 商標の組合員利用について

ZEN-ERiC 商標を組合員に利用していただく事については、先の理事会（第 28 回定例理事会）で承認しています。そしてそのルールについては、経営組織委員会（事業運営委員会の前日）で確認・了承されました。

経営組織委員会で確認されたルールは、商標を使用しているのは全部協の組合員であることを表示すること。例えば、「全日本自動車部品卸商協同組合 組合員」、あるいは「全部協 組合員」などと、社名に並記することが必要とするものです。

これ以外に、本件に関して、理事会からの提案として、商標印刷物を全部協の事業として組合員から請け負う場合の条件整理が求められました。

当委員会として、封筒、チラシ、名刺などに、ZEN-ERiC 商標を記載した印刷物を収益事業として請け負う場合のルール作りについて、意見交換しています。

具体的なルール作成に参考とするために、封筒、チラシ、名刺などに ZEN-ERIC 商標を記載したサンプルモデルを作り、その上で次回の委員会で話し合うことを申し合わせました。サンプルモデルは事業運営委員会で作ることになります（委員のメンバー）。

10、訪米ツアー延期について

今年度の計画として進めていた、米国訪問ツアーの次年度への延期について、事務局から報告がありました。本件は、前日開催の経営組織委員会です承されているものです。

経営組織委員会の中に専門チームを編成し、次年度の訪米計画を作ることになっています。組合員へはメルマガにより、延期の案内を送る予定です（9月号で案内済み）。

次年度の計画では、予め参加メンバーを決めて臨むことが、（経営組織委員会で）確認されました。

2) 編集委員会

全部協は第7回編集委員会を平成28年9月29日（木）10時から、全部協会議室（東京上野）で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- ①第4号（11月号）の紙面割り確認
- ②第3号（9月号）の紙面反響について
- ③配送部数変更確認
- ④広告募集状況
- ⑤メルマガの SNS 移行準備体制について
- ⑥その他

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

1、第4号（11月号）の紙面割り確認

9月号の紙面を基に紙面割りを確認しました。

【1面～3面】

業界のトピックを今までどおり掲載します。その内容は、

今抱えている題材から具体的に考えていく予定です。

【4面】

上段に展示会・イベント情報を掲載します。

具体的には、EVEX、ITS テクノロジー展などが予定されています。

【5面】

(連載) メカニカルレポート [第4回] です。

引き続き、プリウス関係の情報を掲載します。

【6面】

リビルト部品情報などを掲載する予定です。

新車販売台数は継続掲載して行きます。

【7面】

上段に整備工場での人材不足などや、若者のクルマ離れなどを取り上げます。中段以下は、前回と変わらずに女性向けの健康・美容情報や広告掲載を予定します。

【8面】

①顧問弁護士のコラムがなくなるので、代替りの身内の情報などを掲載します。

②(連載) ビジネスマナー

③イベント情報は同じです。

全部協内部のイベント情報として、石川県組合(事業協同組合)の60周年記念行事開催を取り上げるのが提案されました。

開催時期は、10月末ですので1月号への掲載として企画します。

2. 機関誌紙面内容への反響について

同種の新聞を発行しているところから、部品商が取り組む新たな動きとして評価して頂いたことを、事務局から報告しました。また、賛助会員の一部からも紙面内容について良い反応を頂いています。文字の圧迫感がない、図(写真)が多く分かりやすいなどです。今のところ、部品商からの具体的な反応の報告はありません。

3. 配送部数変更確認

9月号発行以降に組合員からの部数変更があり、そのことを事務局から報告しました。

組合員への9月配送部数51,490部。9月号発行後に変更受け付けした部数50,390部で△1,100部(減)。これ以外に賛助会員向けやその他団体向けなどがあるので約500部加わります。合計50,800部以上となります。

今後、組合員へ再度、発送部数について確認することを申し合わせました。時期的には、1年経過を目途に、組合員に問い合わせる機会を作ります。併せて、整備工場の意見などもモニターできると今後の紙面内容充実に参考になるので、方法を検討していくことになりました。

4. 広告募集状況

機関誌発行委託先では新たな広告を募集することを鋭意取り組んでいます。卸問屋から問い合わせがありますが、あまり進んでいません。発行継続に支障にならない様に広告を積極的に募っていくことを確認しました。

現在 NGK から広告掲載時期と同じ時に特集記事を組むことの申し入れを受けています。

5. メルマガの SNS 移行について

事務局から全部協の情報専門部会で FaceBook を立ち上げる打合せを 11 月 7 日に行う事を報告しました。立ち上げの時期を含めて、メルマガをいつまで続けるかも打合せで確認される予定です。しばらくはメルマガと FaceBook が並行することになります。

6. その他

1) メルマガ 10 月号の進捗状況を確認

当初のコンテンツに加え、経営組織委員会で取り纏めている「のびている部品減っている部品 2016」を加えることになりました。

また、石川県自動車部品商協同組合（事業協同組合）の 60 周年記念行事開催を取り上げることも報告されました。

2) 機関誌を他の団体の会合（賀詞交換会など）で配布する提案

良い提案ですが、全部協として相談できる団体は JAPA ないし、部工会など考えられます。しかし、その会合で配布することを受け入れて頂けるかどうか、難しいと思われます。できるだけ機関誌を関係業界の目に触れさせることを取り組んでいくことにして、以後の懸案事項にしました。

添付の PDF データ「01_shibu-block-kyogi.pdf」をご覧ください。

5 | 顧問税理士のコラム

《新企画：顧問税理士のコラム その4》

2016年（丙申）の動向 ～海外編～

丙申年の諸外国の運氣と動向

菊川税務会計事務所

全部協顧問税理士 菊川 慶規氏

添付の PDF データ「02_comon-zeirishi-column.pdf」をご覧ください。

6 | 統計情報

国交省統計 URL

認証・指定工場数及び新規・廃止状況（速報）

<http://www.mlit.go.jp/common/001146648.pdf>

優良認定工場数（速報）

<http://www.mlit.go.jp/common/001146649.pdf>

自販連 URL

ブランド別新車販売台数概況 2016年09月

<http://www.jada.or.jp/contents/data/hanbai/brand01.html>

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会 URL

2016 年 9 月軽四輪車新車販売速報

<http://www.zenkeijikyo.or.jp/statistics/index.html>

7 | 事務局からのお知らせ

1, ZEN-ERIC 商標の組合員利用について

メルマガの 8 月号で、ZEN-ERIC 商標ロゴを組合員に利用頂くために、全部協のホームページ組合員ルームからダウンロードできる様にするご案内を致しましたが、その準備ができました。

利用するに当たりましては、使用上のお願いに従い、全部協の組合員であることを記載願います。また、どの様なものに掲載利用するかにつきましても、事務局までご案内下さい。

2, 「伸びている部品、減っている部品 2016」

経営組織委員会では、過去 10 年の自動車部品・用品マーケットボリュームの推移を毎年まとめています。2006 年から 2015 年までの自動車部品・用品マーケットボリューム推移を整理して、表とグラフで当月号に添付しています。

添付の PDF データ「03_buhin-date_2016.pdf」ご確認ください

データの出展は(株)自動車新聞社発行の「自動車部品・用品マーケット要覧」です。これは、先月号のメルマガでも組合員の皆様に購読紹介をさせて頂きました。

3, 機関誌「オートモーティブプライムニュース」への反響

全部協では、メルマガとは別に、機関誌「オートモーティブプライムニュース」を発行しています。創刊当初は組合員様から多くのご意見を頂きましたが、3号まで重ねた段階で、発行の趣旨と方向について具体性が見えてきたことから、ポジティブに評価して頂くコメントを頂くようになりました。編集委員会ではこれを励みして紙面内容の充実に努めて参ります。

なお、機関誌「オートモーティブプライムニュース」は組合員の客先様を対象にした業界情報誌です。

4, ZEN-ERIC 商品取り扱い普及促進のための展示会・講演会開催

全部協の PB 商品である ZEN-ERIC 商品について、この商品を主催している事業運営委員会で自信を持ってお奨めしている商品ではありますが、組合員様から品質や性能についていろいろ問い合わせを頂いています。

組合員様が少しでも取り扱いやすくするために、実際に取り扱い販売している組合員様からのご感想やご意見を各地で開催する展示会や講演会で直接お伝えする機会の提供を進めてまいります。

全部協の事業計画では地方へ出向いた講演会や展示会の開催を数多く予定しています。組合員様から開催にご協力頂くと共に、開催時には実務者（営業マン、フロントマンなど）のご参加を頂きますことを、お願い申し上げます。

8 | 全部協会議・活動日程

全部協会議・活動日程につきましては

添付の PDF データ「04_h28kaigi yotei-nenkan-10.pdf」をご覧ください。

9 | メルマガ配信アドレス登録のお願い

このメルマガは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

組合員企業、賛助会員企業の皆さまで、配信のご希望がありましたら、全部協ホームページからメルマガの配信登録をお願い致します。

組合員 URL : http://zenbukyo.or.jp/member/mail_form2.html

賛助会員 URL : http://zenbukyo.or.jp/s_member/mail_form2.html

なお、この URL を開くためには、組合員ルームないし賛助会員ルームの ID とパスワードが必要です。ご不明の場合は、事務局までお問い合わせください。

また、組合員と賛助会員企業の関係先で配信希望がございましたら、事務局までお問い合わせください。ご相談の上配信の取り計らいをさせていただきます。

10 | 付録

1) 平成 28 年度自動車整備点検推進運動ポスター・チラシ

添付の PDF データ

「05_h28jst_poster.pdf」 「06_h28jst_chirashi.pdf」

をご覧ください。

2) 緊急地震速報の訓練参加チラシ（国交省、気象庁）

添付の PDF データ

「07_jishinsokuho-chirashi.pdf」 をご覧ください。

3) 大同生命からのお知らせ

添付の PDF データ 「08_daidouseimei-news.pdf」 をご覧ください。

4) PB 商品の広告

添付の PDF データ 「09_PBpr.pdf」 をご覧ください。

5) その他の広告リンク

ショーワグローブ株式会社

<http://www.showaglove.co.jp/>

メルマガ全部協プライムニュースへのお問い合わせ

本メールについてのご意見、ご感想、お問い合わせ

全部協プライムニュース メールマガジン事務局（ジェイシーレゾナンス内）

〒104-0045 東京都中央区築地 3-3-2 NEWS 築地 9F

TEL : 03-5565-1642 FAX : 03-5565-6909

E-mail: primenews@jc-resonance.co.jp

Copyright (C) 全部協プライムニュース メールマガジン事務局

_____ ESET NOD32 Antivirus からの情報, ウイルス定義データベースのバージョン
14239 (20161006) _____

このメッセージは ESET NOD32 Antivirus によって検査済みです。

<http://canon-its.jp>